

事業所名 グループホームゆりの里

作成日：平成 23 年 2月 18 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40 (1 5)	機能的には問題なく摂取できる方でも、道具の使い方・言葉の概念が理解できなく、全介助の必要な方・食事時途中から動きまわられるため介助が必要な方が半数以上占めていて、出勤者すべてが食事介助に対応している。 そんな中で一緒に食事をとることができるか？	当日の出勤者が一つの家族として利用者さんと同じものを食べ、味わい語り合う時間を持つことができる。	①11:30になったら、遅出者以外のものは食事のテーブルにつく。 ②遅出者は全体の見守り、目配りをする。 ③早出者以外は自分の食事を摂りながら介助も始める。 ④早出者は自分の食事が終わったら休憩に入り、当日の感想の記録を行う。	6ヶ月
2	49 (1 8)	歩行可能な方でも(失語)が進み、言語による指示伝達・理解に時間がかかる状態。また下肢筋力の低下により、長い時間の自力歩行が困難で車椅子対応者が多く、出勤者数との関係もあり外に連れ出すことができなかった。	日常的な外出はできなくとも、季節の節目ごとにドライブに出かけ季節感を味わうことができる。	①季節ごとに花見等の計画を立てる。 (早めの起案書提出) ②天候の変化に対応できるようにその月間中は一日の生活の流れを臨機応変に変更して行く。 (当日出勤者) ③計画に沿って職員の配置を考慮してゆく。 ④使用可能であるかどうか車の手配確認 (施設長・リーダー) ⑤バイタルチェックや所持品の準備を常にしておく。	12ヶ月
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。